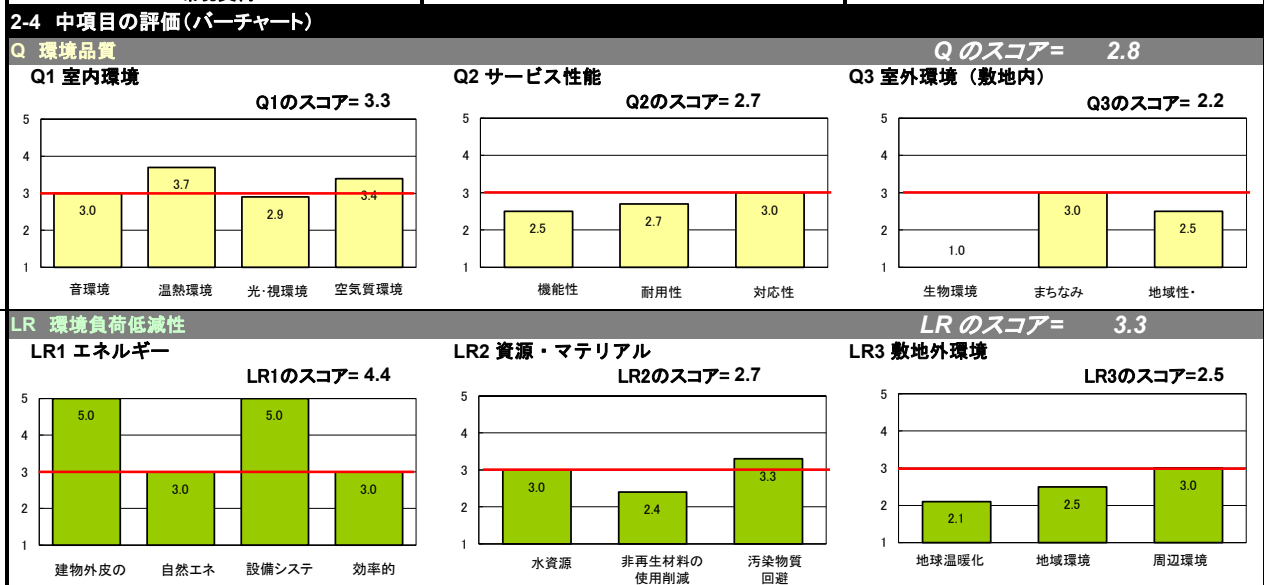
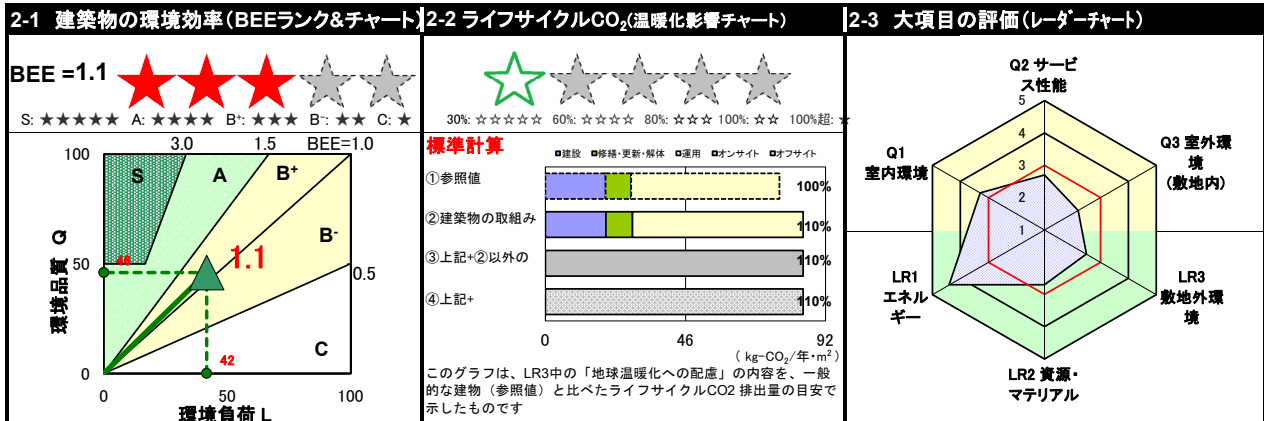


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市中央区梅光園1丁目プロジェクト	階数	地上14F、地下1F
建設地	福岡県福岡市中央区梅光園1丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年4月4日
敷地面積	1,379 m ²	作成者	松本聖也
建築面積	937 m ²	確認日	2025年4月7日
延床面積	6,445 m ²	確認者	藤田真衣



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺地域との調和を図りつつ、生活利便性を高めた居住環境となっている。 また、建物全体の一次エネルギー消費量を抑えた地球温暖化や環境にも配慮した建物である。		その他 0
Q1 室内環境 断熱性能等級5、断熱を強化することで、室内空間をより快適なものとしている。 また、F☆☆☆☆の建材を使用することにより、室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 階高を2.9m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の環境に溶け込みやすいデザインにて計画している。
LR1 エネルギー 断熱性能、一次エネルギー共に高い水準であるZEHレベルを確保することで、より一層の効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない、ノンフロン断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される